

令和5年度 自己評価結果公表シート

作成 新金岡幼稚園

1、本園の教育目標

行事尽くしの保育ではなく日常時における保育が最も重要と考え、子供が無理なく消化できるカリキュラムを根底に子供達がのびのびと情操豊かに成長できるよう一人一人の子供を支えていく。

- ・子供の自主性を重んじ、できる限り子供主体の活動を促し自ら考え判断力を養う。
- ・やりきる力・協調性・集中力を養う。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

全ての行事が子供達自身輝き、自らすすんで楽しめるものなのかを検証し、工夫する。
新型コロナウイルスの5類移行に伴い保育や行事などを感染予防対策を行いながら以前の規模に戻す。
熱中症対策等の園児の安全対策の徹底をおこなう。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
情報公開	園便り・ホームページのブログを通し幼稚園の情報を積極的に発信している。
人材育成	担任は日々の記録を元に、園長・副園長と協議しながら実態を把握し、日案の作成に反映させ日々工夫と努力をしている。 各行事の内容を担当自ら考え創り出す発想力に富んだ内容を考え保育に活かす。
子育て支援	一回参加型の親子クラスと通年参加型の親子クラスを開設し子育て支援を促した。
安全管理	新型コロナウイルス対策として園内の消毒の徹底。 密を避けつつ各行事をコロナ前の規模に戻す。 全園バスに置き去り防止装置を設置。 園バス内に置き去り防止マニュアル及び標語パネルを設置。 職員の置き去り防止の園内研修を実施し、マニュアルの徹底と意識の向上を図る。 熱中症対策として、外遊び等の屋外活動時間の制限や給水、休憩の徹底。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

新型コロナウイルスの5類移行に伴い、それまで規模を縮小していた行事を感染防止に留意しつつ元の規模に戻した。

園児の園バス置き去り事故防止の為、全園バスに置き去り防止装置を設置。園児の点呼・確認の徹底を全職員に共有。置き去り防止の安全マニュアルを全園バス車内に設置し、園児の降車時の点呼・確認を運転手・助手で行うよう徹底した。定期的に安全管理に関する研修を行い職員の意識の向上に努めた。

熱中症対策とし、外遊び等の屋外での活動時間の管理・制限を行い、休憩、給水の声かけの徹底をおこなった。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
人材育成 人材確保	園内研修を充実させ、教員の保育の向上に努める。 園長及び副園長が巡回をし、専門的な保育指導を図り、成長を促す。 人材難に対応するべく諸条件の見直しや派遣会社等からの紹介等を活用し、人材確保をおこなった。
安全管理	園バス全台に安全装置の適切利用と安全マニュアルの運用の徹底。 気温高温時には熱中症測定計を使い、感覚ではなく実際の数値を見て屋外での活動を制限し安全を確保に努めた。

6、学校関係者の評価

良好な運営がなされており、特に指摘される事項はなく妥当であると認められている。

7、財務状況

毎年、公認会計士による監査を受け、適正に運営されていると認められている。